

多くの水鳥が集う「穴道湖」の湖岸にある多自然型公園

穴道湖グリーンパーク

園内＆周辺マップ



足もとに置かれた三角の解説板にもその季節の生きものなどの情報があります。

園内には生きものの解説板があり、樹名板で木々の名まえを知ることができます。

そこにはきっと、
四季折々の野鳥、
昆虫や植物との出会いがあります。
ゆっくりと園内の散策をお楽しみください。

自然を体感！

穴道湖グリーンパークは、野生動植物が生息する環境を維持し、訪れた人がこの地域の自然に親しみを深めることができるようにとつくられました。これからも、自然や生きものについて紹介する展示や自然観察会の開催などを通して、地域に根ざした自然保護の啓発の場としての役割を果たしていきたいと考えています。

園内の林



出雲地方に見られる樹木を中心に植えられているほか、野鳥が好む実になる木なども植えています。樹名板や解説板もあります。

ピオトープ池



水辺の生きものの生息場所として整備しています。水深は全体に浅めですが、深さを調整することができ、3つの池で少しずつ違ってきます。

グリーンパークのまわりには…

穴道湖



隣接する中海とともに、その豊かな自然と特色ある汽水域の環境が国際的に重要な湿地として認められ、2005年11月にラムサール条約登録湿地となっています。

多自然型湖岸堤



ゆるやかな傾斜の草地の湖岸の先には人工の島があり、その間は浅くなっています。夏にはウチワヤンマやナゴヤサナエの羽化殻が見つかることもあります。

さまざまな環境

園内の林や池のほかにも、穴道湖の湖面や岸辺、水田など周辺にさまざまな環境がひろがっています。

バードサンクチュアリ



人の立ち入りを制限して野鳥をはじめとした生きものに生息環境を提供しています。カワセミ池や水場のようすは、観察窓から見るすることができます。

水場



小鳥が水を飲んだり、水浴びをしったりできる浅い水場があります。

北側の田んぼ



地元の農家のみなさんの協力を得て、冬の間、水をためることでコハクチョウなどの水鳥が飛来しやすい環境にしています。

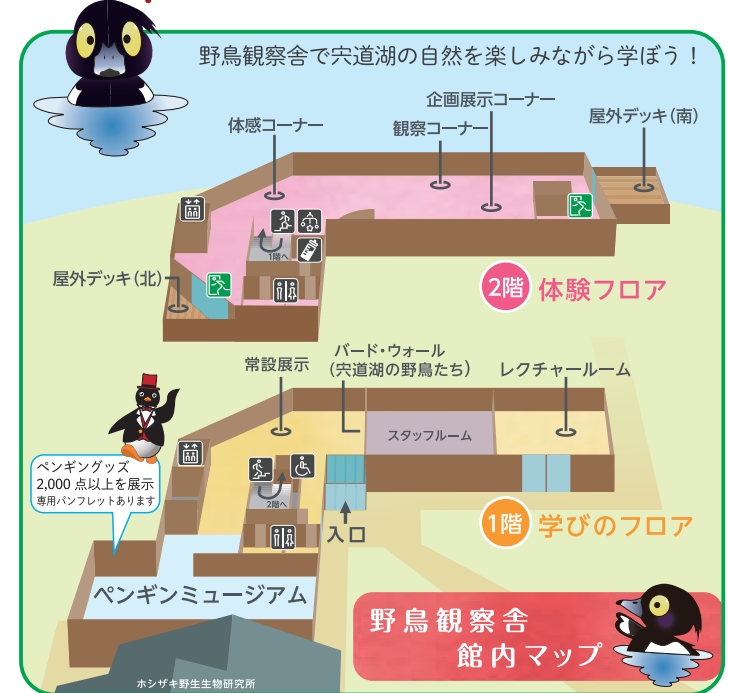
さらに、南に進むと・・・

日本有数の探鳥地「斐伊川河口」



広い河口部には砂州やヨシ原、河畔林があり、周辺には水田地帯も広がっています。水鳥をはじめ、さまざまな野鳥の姿を見ることができます。

学び体験 穴道湖が一望できる 野鳥観察舎



備えつけの望遠鏡でバードウォッチングが楽しめます。職員が常駐しているので初めてでも安心。いろいろな体験を通して興味が広がる空間です。



穴道湖・中海ってどんなところ？ラムサール条約ってなんだろう？自然環境や生きものことなど、楽しみながら関心を深めることができる展示があります。

入口の“バードウォール”には周辺で見られる野鳥がズラリ！～毎時00分に注目！！～“鳥のシルエット”が登場するよ